

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度下記項目を現行よりも高感度化した測定方法に変更致します。新法は検出に用いるRNA量を増量することで、より低いコピー領域まで測定が可能となりました。

慢性骨髄性白血病の分子標的薬イマチニブ(Imatinib)は**bcr/abl**タンパクをターゲットとし、高い治療効果が得られることが証明されています。その効果はMajor **bcr/abl**キメラ遺伝子発現レベルによりモニタリングが可能です。現行法では分子遺伝学的寛解とされる50コピー/アッセイまで測定が可能ですが、遺伝子変異に伴う再燃による病態の進行を防ぐためにはより深い寛解状態に抑えることが有用とされます。新法は5コピー/アッセイまでのより低値域のモニタリングが可能になりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくお取り計らいの程お願い申し上げます。

敬具

記

変更内容

● Major **bcr/abl**キメラmRNA定量(Amp-CML)

	新	旧
コード	9535	5797
検体量	EDTA加血液 7mL/冷蔵	EDTA加血液 5mL/冷蔵
基準値	5コピー/アッセイ未満*	50コピー/アッセイ未満
所要日数	2~5日	5~7日
報告下限値	5未満(コピー/アッセイ)	50未満(コピー/アッセイ)
報告上限値	625以上(コピー/アッセイ)	2500以上(コピー/アッセイ)
報告様式	数値報告	別紙報告

*1：白血球数が2000個/ μ L未満ではRNA量が不足する場合がありますので2倍量採取して下さい。

*2：従来と同じ0.5 μ gRNAあたりのコピー数に換算し報告します。

実施期日

● 平成21年4月1日(水)受付日より

なお、現行法(5797)は本年4月末をもって受託を中止致します。